

(後記 1)

茨城県庁友の会設立 50 周年記念式典 主催者挨拶



川俣 勝慶

茨城県庁友の会長

本日は、皆様方には大変お忙しい中、茨城県庁友の会設立 50 周年記念式典にご出席をいただきまして、誠に有難うございます。

ご来賓として、茨城県から小野寺副知事さんをはじめ県幹部の方々、友好団体から「茨城県退職公務員連盟」の鯨岡会長さん、「茨城県職員退職者の会」の清水会長さんのご臨席を賜り、心からお礼申し上げます。

皆様方には、日頃から、茨城県庁友の会の事業活動等に対して、格別のご支援・ご協力を賜りまして、改めまして厚くお礼申し上げます。

昨年、茨城県政 150 年の大きな節目の年、茨城県庁友の会は、9 月に設立 50 周年（半世紀）を迎えることができました。誠に喜ばしい限りであります。

県庁友の会は、県を退職した人たちの親睦団体として、昭和 46 年（1971 年）に発足して以来、会員の親睦融和を図るとともに、その知識経験を生かして社会文化の高揚並びに県政の進展に側面から協力するなど、地域社会の中で頑張って参りました。

これもひとえに、今日の礎を築かれた歴代の役員や事務局の方々のご尽力はもちろんのこと、県をはじめ友好団体の皆様方のご理解とご支援、そして会員各位のご協力の賜と心より深く感謝申し上げます。

本来ですと、設立50年ということで、令和3年11月5日に盛大に茨城県庁友の会設立50周年記念式典を挙行するとともに、人生100年時代に備えた健康管理をテーマとした記念講演会や、会員で歌手デビューした方や地域で音楽の慰問活動等している方によるアトラクションなどで祝賀会を盛り上げてもらうことを計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でやむなく中止にさせていただくこととなった次第でございます。

50周年記念事業検討会の皆様には、令和元年11月から長い間、記念事業の計画から本日の実施にあたり大変お世話になりました。

さて、県庁友の会は、設立当初4支部600余名の会員でしたが、今から10年前には6支部2,700名までになりました。しかし、その後の退職者の減少等により、現在は6支部約1,900名の会員となっております。

この間、友の会では本部・支部の連携のもと会員の交流や美術展などの文化活動、支部での親睦旅行や講演会の開催、視察研修のほか、趣味の会のゴルフ、囲碁・将棋、園芸、陶芸、フォトクラブや女性の会活動などを実施しまして、会員の退職後の人生の充実を図るための一助となるよう努めてまいりました。本年から新たに県庁友の会のホームページの開設やメール配信による情報提供も実施していきます。

本日、「50周年を振り返って」と題しましてスライド上映により、設立総会から直近の総会や本部、支部、趣味の会の様々な活動をご覧いただきますのでぜひ楽しみにしてください。

今後、友の会を取り巻く環境は退職者の減少や定年制の延長などで厳しい状況が続きますが、50周年を契機に、これからも県庁友の会が茨城県でお互い苦楽を共（友）にしてきた仲間の誰もが気軽に参加でき、退職後の交流の場として楽しい雰囲気の中で会員相互の親睦と交流を深め、活動できる魅力ある組織となるよう努めていくことが大切であります。

県庁友の会としましては、これからも従来の活動の見直し充実に努めるとともに、メール等を通して会員の皆様のご意見やご希望を伺い新たな活動に取り組むなど、会員の皆様と一体となった活性化を進めてまいりたいと考えております。会員の皆様におかれましては、これからもお元気にご活躍いただき、友の会の発展のためお力添えをよろしくお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症が1日も早く収束に向かいますことと、会員並びに関係者の皆様方ますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。